

# 九条の会

新津・小須戸「九条の会」事務局  
新津教育会館内  
新潟市善道町2-9-44

Tel 0250-21-3691 Fax 0250-21-3692  
http://www7a.biglobe.ne.jp  
/~hiro-line/nk9jo/index.htm

結成一周年のつどい

## 感動をよんだ郡山さんの講演

### 講演要旨 『戦争と貧困の連鎖を断て』

フォトジャーナリストの郡山総一郎さんは「この目で見てきた戦争と憲法九条」についてたくさんの映像を使って生々しく報告しました。(一時間半を越えるお話の一部を紹介します)

イラクやパレスチナ、アフガニスタン。どこでも戦争と貧困がまるで鎖のようにつらなって人々を苦しめていました。バクダッドの病院に行くと、あと3日しかもたないと言われた意識不明の男子の子を父親が懸命に看病していました。母親はすでにアメリカ軍の空爆で殺されています。この子はいったい何か悪いことをしたのでしょうか。イラクで戦争の犠牲になっているのは民間人で、しかもその7割が女性と子どもです。これがアメリカの正義の戦争の真実です。パレスチナは半世紀以上イスラエルの占領下で苦しんでいます。

ある時3人の兄弟に出会いました。目の前で父親と母親がイスラエル兵に射殺された。憎しみが生まれぬはずがありません。武器をとるなという方が間違っています。彼らがテロリストと呼ばれることになるのです。そういう状況をつくったのは誰ですか。

タイに親からエイズに感染した子どもたちのための孤児院があります。普段は元気な子どもたちが、父母のいる一家を見て急に黙り込んだ場面を見ました。背景には貧困があります。パキスタンにあるアフガニスタン人の難民キャンプでは、まだたった2才の子がレンガ工場で働いていました。働かなければ餓死するしかない。こうした子を生みだしたのはアメリカの空爆です。カンボジアには今も沢山の地雷がうまっています。ここでは8才の時に地雷を踏まされて片足を失った青年に出会いました。探知機がわりに地雷原を歩かされたのです。

アフガニスタンでは戦争孤児が路上生活をしています。彼らを誘拐する事件が多発しています。殺して臓物を臓器移植用に売るので。子どもたちのことを心配する者など誰もいません。タイでは誘拐された女の子は売り飛ばされて売春婦にされています。わたしの会った中で一番小さい子は9才でした。彼女たちは辛い毎日に耐えるために、麻薬やアルコールに救いを求めます。仕送りをして一家を養っているのに、そのなつかしい故郷には差別のために、もう帰れないのです。そうした彼女たちを買うのは先進国の男たちで、その8割は日本人だといえます。子どもは大人の作った環境でしか生きていけません。私たちは子どもたちが生きづらい、平和に生きていけない社会を作っています。戦争、貧困、地雷、エイズ、みんな根っ子は一つです。この連鎖を断ち切らなければなりません。私たちはよく9条があったから他国の人を殺さずにすんだといえます。ちがいます。イラクやアフガニスタンに劣化ウラン弾を落としたりアメリカの爆撃機に燃料を補給しているのは、日本の自衛隊です。殺したことになりませんか。知らなかったではすまない、そのことをよく知った上で9条を守ることが大切だと思います。

\*\*\*\*\*

『一周年のつどい』にご協力ありがとうございました。

協力券では221枚(110,500円)のご協力をいただきました。講師の謝礼、会場使用料、印刷用紙・郵送代等に使用させていただきました。



## 参加者の感想

「九条の会結成一周年のつどい」素晴らしかった。このような会はとかく、かたぐるしいものになっているのが一般的ではないでしょうか。今日のつどいはコーラスがあって、気分を和ますためにもよかったと思う。自分の身体と目で見、考えたことを、写真で、怒りの中に優しさを込めて話されたのは、記念講演としては珍しく、聞いている人達の心にジーンと来て、「よーし、頑張らなければ」という気持ちにさせてくれたのではないのでしょうか。

欲を言えば、各国の現地の人達、特に子供たちや婦人たちの生の声をもっともっと聞けると、戦争とは何か分かり、支援の名のもとに駐留しているアメリカ、イギリス、日本などの本当の姿が見えてきたのでは。一周年は意義のあるものだった。もっともっと多くの人たち、若者に聞いてもらいたかったなあと。  
金沢町 渡辺 久

### 事務局からのお願い！

「9条の会」のニュースを届け、会や賛同者を広めましょう。

「憲法9条を守る」賛同署名を広めましょう。町内ごとの「9条の会」の結成をすすめてみましょう。

「9条の会」の仲間(会員)を増やしましょう。

## 若ものつぶやき

「平和？だからなんだーってのさ。」

最近の若者は、といっても、私もその一人ですが、平和について語ることなんてないですね。いや、若者はというより、日本の大人全部が日常的に平和について話すことってないですよ。じゃあ、何にも考えていないかというと、心の中はそうじゃないと思うんです。

「世界平和は大事でも、今どうやって生きるかが大変なんさ。」きっと、こうだと思うんです。残業、残業で休むヒマもない。仕事したいのに安定した仕事がない。勉強しても報われない。どうせ自分なんていなくなっただけで何にも変わらない。大人も子どもも毎日が戦争。こんな生きるのに精一杯な毎日に、平和を語り合おうって方が無理かもしれない。でも、ちょっとまって。平和ってそんな神々しいものじゃないし、異世界のものじゃない。人間が作り出せるものなんですよ。国が戦争のための準備をしないで、みんなでよりよく生活するために動いたら、ボクらの毎日の戦争も国どうしの戦争もなくなるんじゃないでしょうか。きっと、憲法9条はそれだけで平和を守っているのではなくて、戦争はしないで、私たちの人権を守って、みんなが幸せになれるためにあるんだと思うんですけど、違うでしょうか。

やまざきたけお

## 中山団長が「九条の会」を紹介 「九条の会」ニュース 第79号(11月14日付)より

衆院憲法調査特別委員会は7月16日から29日にかけてヨーロッパの国民投票制度等の調査をおこないました。その一つの訪問国ポーランドの関係者との懇談のなかで同調査団中山太郎団長は、「九条の会」を紹介しています。(『衆議院 欧州各国憲法及び国民投票制度調査議員団報告書』より)

**中山団長** 憲法9条に関しては、国民的な関心も高く、例えばノーベル文学賞を受賞した大江健三郎という作家などは、「9条の会」という全国的ネットワークの会を作って運動している。

**ポロフスキ元下院議長** それは(9条に関して)どういう主張の会か。憲法9条の改正に対して、賛成する会か、それとも反対する会か。

**中山団長** 憲法9条改正に断固反対の護憲の会である(笑)。

**マゾビエツキ元首相** 憲法9条に関する国民の意見はどのように分かれているのか。

**中山団長** 北朝鮮がミサイルを撃ったために、いつまでも平和に暮らせるという、戦後の概念が崩れ始めてきており、このような東アジアの緊張した情勢を反映して、国の防衛というものに関して、国民も関心を持つようになってきている。

**グレメク元外相** 中山団長のご発言は、日本の世界における地位に関わる重要な問題であると受け止めた。日本は、この世界における大国である。特に、ソフトパワーという意味で大国であると考えている。日本は、「人間の安全保障」を掲げており、EU以外で貧困国への援助を行っているのは、日本だけである。そういった意味で、日本は、国際社会で大きな役割を果たすことができるし、EUにとっても重要なパートナーになり得るといえることである。しかしながら、日本とEUのパートナーシップは、これまで必ずしも十分ではなかった面がある。こうしたことを踏まえて、私は、日本国憲法9条の存在は日本のソフトパワーとしての大国という意味において、決して大きな障害にはならないと考える。日本は、将来、「平和的な大国」として、より大きな役割を果たすべきであり、また、必ずそうなる国だと考えている。